

2013/8/28 (水)、第6回「やたはな組」を開催しました。 その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

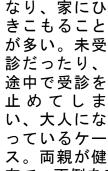
矢田圏域ケアマネ勉強会「やた はな組」を 矢田中ひまわり会館にて開催しました。

当日は残暑がまだまだきびしいなか、みなさん 熱心に参加いただきました。

今回は平成 24 年度の地域ケア会議で多かっ た、認知症があり複合的な課題を抱えたケース で、不就労で自宅に「ひきこもり」家族のいる ケース。包括にはケアマネからの相談が多いが、 相談時点で困難な状況になっているケースが多

かった。

テーマを「家族がひ きこもりかなと思った ら?」とし、東住吉区 保健福祉センター・丸 山精神保健福祉相談員 から、症例や関わり方 について、ご自身の体 験事例を紹介いただき





在で、面倒をみれる間はいいが、高齢になると 親の方もたいへんになる。生活者として多様な 視点で接してもらい、利用者のみならず家族へ の支援にも気づき、早く専門機関に相談を行っ てもらえれば、一緒に関わっていける。

原因や症状の進行は人さまざまであるが、お

かしいなと思われたら、まずは医療機関への受 診が肝要。キッカケは学校や職場などで対人関



ながら解説。

参加されたケアマネにもその場で質問や感想、体験事例を 語っていただき、丸山精神保健福祉相談員からアドバイスを受 け、ケアマネー人で抱え込まず相談できることがわかり安心し た、協力して対応していきたいなどの意見を聞け、支援のため の連携の大切さを再認識いただけたものと思います。

また、東住吉区支援運営担当:高橋係長から、生活保護の現 状について説明いただき、東住吉警察署防犯係:草野さんから、 還付金詐欺の注意喚起と防犯協力の情報提供を行いました。



「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただ き、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。 そのうえで、地域における相談支援の担い手として、一人一人が力をつけていただいたなら、矢田 の地域にとって、何より心強い存在になっていただけると思います。

ご協力いただいた区保健福祉センター:丸山精神保健福祉相談員、区支援運営担当:高橋係長、 東住吉警察署防犯係:草野さん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございました。 次回「第7回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたいと 思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センタ 電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan. or. jp